

ビーチで夏のお祭りを満喫！ 「シーサイドギャラリー夏」

今年も8月15日に入野の浜で「シーサイドギャラリー2012夏」が開催されました。心配していたお天気も何とか回復し、多くのお客様さんでにぎわいました。

夕方6時から行われた「砂浜ヨガ」には、約20人が参加。波の音をBGMに、身体の声に耳を傾けながら、ゆっくりと手足を動かし、筋肉をほぐしていきます。最後は、砂浜に寝そべってゆっくりと呼吸。再び目を開けて見上げた空の美しさは、思わずため息が出るほどでした。



波の音を聞きながら体を動かす砂浜ヨガ。講師は町内在住の山元彩乃さんです。

続いて、午後7時から、フラダンス教室「ルアナと楽しい仲間たち」のメンバーにより、フラダンスが披露されました。ゆったりとしたフラの音楽に合わせて、笑顔で踊る姿が、次第に暮れていく夕闇に溶けて行きます。



幡多各地の教室の仲間が集まりました。色とりどりのパウスカートで浜が南国ムードに染まります。

すっかり暗くなった午後7時30分からは「盆踊り大会」。大方音頭、新佐賀音頭、鹿島一声浮立、東京ばやし、ばんば踊りの5曲を踊ります。今年も団体での参加は少なかつたものの、飛び入り参加のお客さんで踊りの円は何重にも増え、最後の鹿島一声浮立では、砂に足を取られながらも、飛んだり跳ねたり踊りまわって盛り上がりました。



踊り子全員に「シーサイドギャラリー2012夏」と書かれた手ぬぐいがプレゼントされました。

クライマックスは、砂浜から頭に打ちあがる迫力の花火500発。大きな花火が夜空を彩るたびに、お客さんからは「おおー！」という歓声が上がりました。今年も、住民の皆さんや地元企業の協力により、盛大にお祭りを開催することができました。ありがとうございました。また来年もお楽しみに。



シーサイドギャラリー「ロメロ

その①「わけありダンサーズ」

毎年、盆踊りに登場する着ぐるみ軍団「わけありダンサーズ」。去年は龍馬博のキャラクターでしたが、今年は「ゆづとつくくん」や「つなみマン」ら、県の防災キャラクター5体。子どもと一緒に記念写真を撮ったり、手ぬぐいを巻いて踊ったり、暑い夏の夜に大汗かきながら頑張っているのでした。



その②「鹿島声浮立」

毎年盆踊りで最も盛り上がる曲が「鹿島声浮立」です。この「鹿島」は、黒潮町佐賀の鹿島…ではなく、佐賀県鹿島市のこと。民謡の全国大会で披露され、黒潮町の盆踊りでも踊られるようになりました。

鹿島市では、毎年8月上旬に「鹿島おどり」という約2万人が集まるイベントが行われ、そろいの浴衣や法被の踊り子が歩行者天国となった街中で踊ります。本場の鹿島一声浮立は、飛んだり跳ねたりしないですよー！